

86 ブドウ吊り棚を利用した飼育施設による天蚕の大量飼育

福島県蚕業試験場養蚕部・平成12年度蚕業試験場年報

- | | | | |
|-------|------------|-------|----------------|
| 1 部門名 | 蚕系－その他－その他 | 分類コード | 09-99-99000000 |
| 2 担当者 | 三田村敏正・松木伸浩 | | |
| 3 要旨 | | | |

天蚕の年間2世代飼育を安定的にかつ経済的に行うため、パイプハウスと比べて大規模飼育に適したブドウの吊り棚用施設を利用した飼育方法について検討した。

飼育はブドウの吊り棚方式の施設(40m×15m、高さ2.5mで1999年4月にエゾノキヌヤナギを株間1m、畝間2mの間隔で220本植付け、4ミリ目の防風ネットで被覆した)で行った。対照は従来のパイプハウスによる飼育とした。飼育は2000年4月に飼料樹1本当たり10卵ずつ山付けして行った。

その結果、結繭率はいずれも76.0%で差がなかった。また、繭重も大きな差は見られなかった。このことから、ブドウ吊り棚方式による天蚕飼育もパイプハウス同様、大量飼育に有効と考えられた。